

## 人権に関する講演会

# 『多様な性と自分らしい生き方』を開催しました！

11月22日（火）、お二人の方に来校していただき、「多様な性と自分らしい生き方」をテーマに、全校生徒・全教職員に向けてお話をしていただきました。

講師の多賀法華さん（雲南市在住）と佐藤みどりさん（松江市在住）は、それぞれ、セクシャルマイノリティの立場から、県内各地での講演活動や SNS での相談対応など、性自認や性的指向に関してさまざまなかたちで理解・啓発等の活動をおこなっておられます。ふだんは各々活動をしていらっしゃるお二人ですが、今回、邇摩高校での講演に合わせて特別にタッグを組んでくださいました。

講演は、事前に届けていた生徒からの質問に答えていただくかたちで進みました。



（▲左：多賀法華さん、右：佐藤みどりさん）



### <生徒からの質問>

- 自分が性的マイノリティだと気付いた時の心境は？ 周りに伝えた時の反応、また伝える時に不安だったこと・心配だったことは？
- 施設・設備や人々の考え・気持ち、行動で改善してほしいことは？
- 条例や法ができてほしいか？（同性婚など）
- LGBTQ の人たちが今の社会に思っていることは？ など

多賀さんからは、「例えばスポーツ大会で、身体の性と心の性が違う人は、男女のどちらの部門に出場すればよいか悩む。そもそも何のために行うものなのか、根本的なところを問い直すことが必要」。「制度や慣習があるからあきらめる、のではなく、そのとき、そこに暮らしている者同士で新しいかたちをつくっていけるといい」、また佐藤さんからは、「自分らしく生きるために、まず自分のことを知ること。自分自身がどう生きていきたいかが大切」。「性自認がどうであっても、すべての人が平等に権利や選択肢を得られる社会であってほしい」等、それぞれの経験談を交えながら、たくさんのメッセージをいただきました。

途中、お二人からの質問に、生徒が自分なりの考えを伝える場面も。また、代表生徒が「理解はしていたつもりだったが、当事者のかたの思いを直接聴くのは初めてだったのでよかった。自分と無関係だと思わず、自分に出来ることを考えていきたい」との挨拶をしました。お二人の息の合ったトークに、あっという間の 50 分でした。生徒の感想は、人権教育日より『なりすな』で改めて紹介します！



【2022.11.28 人権教育推進スタッフ】